

育心拓夢

愛媛県総合教育センター所報 No.159
 (平成30年11月7日発行)
<https://center.esnet.ed.jp/>
 〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲650番地
 TEL 089-963-3111(代) FAX 089-963-3146

○ 教育開発部長挨拶 1	○ 基礎研修 受講者の声 3
○ センターホームページの紹介 1	○ 調査・研究発表会のお知らせ 4
○ 専門研修について 2	○ 県内の不登校児童生徒への支援体制について 4
○ 課題別研修について 2		



「学び続ける教員像の確立へ」

教育開発部長 富永 俊樹

「研修するって本当に楽しい」と子どものような表情で「学ぶ喜び」を声にしていた先生方が印象的でした。教育センターでは、本年度も基礎研修をはじめ、専門研修、課題別研修、サテライト講座（地域別研修）、出前講座など、学校のニーズに応えるべく講座を拡充して開設し、これまで1万3千人を超える先生方が研修に励みました。そのほとんどの先生方から、自身の資質・能力を伸ばそうとする向上心と、教育に対する強い熱意を感じました。今、教員の働き方がうんぬんされていますが、「愛媛の先生」はやはりすばらしく、これからも、研修への真剣なまなざしは失わないでほしいと思います。

本センターのあらゆる研修は、「指標」に基づいて実施しています。指標とは、県教育委員会が今年2月に策定した「校長及び教員の資質の向上に関する指標」です。ここには、教員のキャリアステージに応じて求められる【人間力】【信頼構築力】【組織力】【実践的指導力】という四つの資質・能力が、18の具体的なキーワードによって明確に示されています。

本センターでは、各講座が、どのキャリアステージを対象としているか、また、どのような資質・能力の育成を目指しているのかなどを、受講者と確認して研修に臨んでいます。さらに、研修後には、資質・能力向上につながるものであったかなど、その成果を自己評価していただいています。

学校においても、「指標」を一層活用していただくことを願います。大切なことは、先生方一人一人が、自分のキャリアでは、一つ一つのキーワードについてどのくらいのレベルにあればよいのかを、自身でつかんでおく必要があるということです。そして、十分でなければ、到達を目指して努力することが求められます。キーワードの一つ一つを伸ばすための教育活動の場面や研修の機会は、私たちの周りに必ずあるはずで、指標を「自分を伸ばすべき姿」と捉えて、目的意識を持って日々研さんすることこそが、指標策定の真義であり、「学び続ける教員像」を自分で確立していくことになるのです。管理職や「資質・能力発展期」等の先生方には、是非、人材育成の視点から、指標を踏まえた助言や支援に努めていただきますようお願いいたします。

これからも私たちセンター所員は、学び続ける先生方を全力でサポートするために知恵と汗を出していく所存です。愛媛の子どもたちの輝く愛顔のために、共に力を合わせてまいりましょう。

総合教育センターホームページの紹介

本センターホームページでは、愛媛の子どもたちのために、学校・家庭を総合的に支援するための情報を掲載しています。

<ホームページで提供している主な情報>

- 学校の教育活動を支援する情報
- 教職員の研修に関する情報
- 学校づくりや授業改善等で活用できる情報
- 子どもの発達や教育についての相談・支援に関する情報

上記の内容や本センターの取組について随時更新していますので、ぜひ御活用ください。

<センターホームページURL>

<https://center.esnet.ed.jp/>



専 門 研 修

専門研修は、専門的・特定分野における専門性や実践的指導力を高める研修です。今年度は、14講座から24講座に拡充しました。

「【小中・省令主任等】ミドルリーダー研修」

8月6日（月）に開催した本研修は、学校運営において中核的な役割を果たす教員が、ミドルリーダーとしての資質・能力の向上を目指す研修です。午前には、ミドルリーダーに求められる役割等についての講義を行い、午後からは、教育法規や喫緊の教育課題への対応についての演習を行いました。研修を通じて、受講者の「組織貢献力」や「協働性・同僚性」の向上を図りました。



「【特別支援教育】通級による指導担当者のためのスキルアップ」

8月28日（火）に開催した本研修は、発達に課題のある子どもの実態把握や特性に応じた支援方法等について学び、通級による指導担当者の指導力の向上を目指す研修です。経験豊富な講師から、発達に課題のある子どもの特性に応じた具体的な支援方法や学校内外の連携などについて学ぶとともに、実践に役立つ教材を多数提供していただきました。班別協議では、支援方法や教材・教具の活用法等について、熱心に意見交換を行いました。研修を通じて、受講者の「特別支援教育力」の向上を図りました。



課 題 別 研 修 — テーマ別研修講座 —

今年度は、課題別研修においてテーマ別研修講座を8講座開催しました。8月に開催した3講座のうち2講座の内容についてお知らせします。

「【環境教育】学校における環境教育」

午前には、推進校の実践例を紹介したり、持続可能な開発のための教育（ESD）の考え方を学んだりして、環境教育への取り組み方について理解を深めることができました。

午後からは、ソーラークッカーを使った調理や、燃料電池のシステム理解、霧箱での放射線観察等の体験を通して、エネルギーや資源の効果的な利用について考えました。また、協議では、各校種の先生方が活動報告をする中で、今後の活動へのヒントを得ていました。



「【キャリア教育】キャリア教育の指導と実践」

午前には、「キャリア教育の動向」についての講義を受けた後、「キャリア教育の在り方」というテーマで今治のタオル会社代表からお話を伺いました。「最大限の安全と最小限の環境負荷」を考慮してモノづくりをする上で大切にしていることやそこで働く方々の今後の目標などを伺いました。

午後からは、「キャリア教育の進め方」というテーマで、持続可能な開発目標や持続可能な開発のための教育、キャリア教育の実践事例について講師の方からお話を伺いました。その後、各学校でのキャリア教育の現状と課題について受講者同士が話し合うことで、キャリア教育についての視野が広がりました。



基礎研修 受講者の声

<初任者研修>



「充実した毎日です」

今治北高等学校 大三島分校
教諭 小倉 一哲

勤務校での日々の研修を通して、教諭としての自覚、教育に対する情熱及び教科指導・生徒指導の力量を高めることができていると感じます。また、手本となる先輩教員の仕事に取り組む姿から、軽いフットワーク、広いネットワーク、個々の持ち味を生かすチームワークという「3つのワーク」の大切さを実感しています。

初任者研修では、教育活動の理論と実践が結び付くよう、自分自身の取組を振り返ることができます。そして何よりも、一緒に切磋琢磨し、互いを高め合うことのできる良き仲間に出会うことができました。

これからも、多くの学びの場を活用し、生徒と共に謙虚に学び続け、充実した毎日にしていきます。



「大切にしたいこと」

八幡浜市立八代中学校
教諭 堀田 優子

「出会いは一期一会、その機会を大切にしよう」
研修で一番印象に残った言葉です。初任者研修では自分と同じ立場の教員から、多くの刺激を受けました。互いに授業に関する悩みを相談し合い、解決に向けてアドバイスし合うこともできました。このような研修での出会いを大切にしたいと思います。

私は、生徒の心に寄り添い、気持ちを受け止められる教師になりたいと思っています。そのために、生徒との出会いを大切に、積極的にコミュニケーションを図り、お互いの気持ちが通い合うよう、一つ一つの過程を大切にしながら関わっていきたくです。

愛顔あふれる学級を目指します。

<キャリアアップ研修Ⅱ>

キャリアアップ研修Ⅱを受講している先生方にインタビューをしました。参加者は、矢野千春 教諭（四国中央市立川之江小学校）、重藤健二 教諭（松前町立松前中学校）、行元美奈 教諭（伊予農業高等学校）、仙波絹枝 教諭（今治特別支援学校）の4名と本センター指導主事 越智宣和です。

越智：研修を受けてどのような感想を持ちましたか。

矢野：はつらつとした、魅力のある講師の先生方から元気をもらいました。

重藤：教師としての経験を重ねてきましたが、研修を受けることで更に学ぶ必要があると感じました。

行元：育児休暇明けだったので、新しい情報など学び直せたことが良かったです。

仙波：研修を受講する中で、いろいろな反省と同時に生徒の顔が思い浮かび、「こうしよう」と意欲が出てきました。

越智：どのような研修が印象に残りましたか。

矢野：特別支援教育の講座では、子どもの5、10年後の姿を想像できるような教師になりたいと思いました。

重藤：教科指導の研修では、同期の先生方の模擬授業を見て、指導内容や指導の仕方などが参考になりました。

行元：学校安全と危機管理の講座と教科の研修が印象に残りました。

仙波：FU受講者との合同研修が印象に残っていて、人の意見を引き出すことの難しさを感じました。

越智：研修の内容をどのように役立てていきますか。

矢野：教職を10年経験した教師として、教育支援員や保護者との接し方、子どもたちへの対応など少しずつ変えていきたいです。

重藤：教科指導等、自分がやってきたことをもう一度見直して、新たな気持ちで頑張りたいです。

行元：研修で学んだことを生徒に還元して、授業や部活動を通して生徒の主体性が引き出せるようにしたいです。

仙波：積極的にコミュニケーションを取ったり、自信を持って自分の意見等を周りに発信したりしたいと思います。

調査・研究発表会のお知らせ

調査・研究発表会は、教育センターにおける調査・研究の成果を、県下の教育関係者に広く公開し、本県学校教育の振興と充実を図ることを目的としています。

- 1 期 日 平成31年2月8日（金）
- 2 会 場 愛媛県総合教育センター 大講義室等
- 3 研究主題
「輝く愛顔あられる学校教育の総合的な支援」
- 4 研究の柱
 - 教員の資質向上に関する研究
 - 喫緊の課題の解決に関する研究
 - 新学習指導要領の理念の具現化に関する研究
- 5 研究発表
 - ミドルリーダーの育成を目指した効果的な研修の在り方に関する研究
 - 小学校でのプログラミング教育の推進を支援するコミュニティサイトの構築

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に関する研究
- 不登校生徒への支援の在り方に関する研究
- 特別支援学級における自立活動の指導に関する研究
- 6 長期研修生・短期研修生の研究発表
- 7 講演
講師 菊池 省三 先生（高知県の町教育特使）

昨年度の調査・研究発表会には、186名の先生方に御参加いただきました。今年度も多くの先生方の御参加をお待ちしています。
なお、内容の詳細及び参加申込みにつきましては、各学校に送付する案内又は本センターホームページを御覧ください。
(案内の送付、ホームページの更新は、12月上旬に行う予定です。)

県内の不登校児童生徒への支援体制について

教育相談室では、県内の幼児児童生徒、保護者及び教職員を対象に、来所相談と電話相談を行っています。また、不登校児童生徒を対象とした適応指導教室「こまどり教室」を開設し、子どもの自立と集団への適応を目的に支援を行っています。

県内の市町が開設する適応指導教室は、平成30年9月現在14教室あります（右表参照）。本センターでは、これらの適応指導教室の相互理解と連携の機会を設けるために、広域不登校対策センター連絡協議会を年に1回開催しています。この連絡協議会では、各適応指導教室が抱える問題を共有し、対策を話し合うことを通して、適応指導教室、学校、家庭、

関係諸機関が連携した地域ぐるみのサポートネットワークの整備と、支援の質の向上を目指しています。



【愛媛県内の適応指導教室】

四国中央市	適応指導教室	キトリ（H30 休級）
四国中央市	適応指導教室	ユームールーム
四国中央市	適応指導教室	はあとふるDo I
新居浜市	適応指導教室	あすなろ教室
西条市	適応指導教室	いしづち
西条市	適応指導教室	ひうち
今治市	適応指導教室	コスモスの家
松山市	適応指導教室	松山わかあゆ教室
松山市	適応指導教室	松山市自立支援教室
松山市	適応指導教室	北条文化の森教室
伊予市	適応指導教室	はばたき
大洲市	適応指導教室	おおすふれあいスクール
内子町	適応指導教室	ふれあいルーム
宇和島市	こども支援教室	わかたけ
愛媛県	適応指導教室	こまどり教室

所報「育心拓夢（いくしんたくむ）」について

この言葉は本センターが現在の地に移転した昭和57年頃、当時の所員が作った言葉で、敷地内にある石碑に刻まれています。「総合教育センターでは、子どもたちが確かな学力を身に付け、豊かな『心を育む』こと、また、自らの力で未来への『夢を拓く』ことができるように学校支援を行う」という強い思いが込められています。